

令和7年7月1日

内子町環境マネジメント推進本部長

内子町長 小野植 正久 様

内子町環境マネジメントシステム監査チーム

主任監査員

小野 里政美

副主任監査員

多比良 康彦

副主任監査員

森岡 瞳

数値目標監査結果報告書

令和7年度内子町環境マネジメントシステムにおける数値目標の監査結果について、以下のとおり報告します。

1. 監査日時 令和7年6月25日（水）午前10時00分～午前11時40分
2. 監査場所 内子町役場本庁4階 第3会議室
3. 監査内容 数値目標（令和6年度実績）監査

4. 監査結果

ステージ		目 標	達成 状況	評価
ホップ	A103	電気使用にかかる温室効果ガス排出量を、2019 年度比で 6.4%以上削減します。	×	○
	A104	公用車等の燃料使用にかかる温室効果ガス排出量を、2024 年度までに、2019 年度比で 11.0%以上削減します。	×	
	A105	公用車の走行にかかる温室効果ガス排出量を、2024 年度までに、2019 年度比で 1.1%以上削減します。	○	
	A106	その他燃料使用にかかる温室効果ガス排出量を、2024 年度までに、2019 年度比で 11.0%以上削減します。	○	
	A107	公共事業における省エネルギーに関する環境配慮率を、90%以上にします。	○	
	A108	コピー用紙等の使用量を、2025 年度までに、2019 年度比で 2.5%以上削減します。	○	
	M107	環境や環境マネジメントシステムにかかる職員研修を年 1 回以上開催します。職員はこれに積極的に参加し、その内容を理解します。	○	○
	M112	ホップステージの取組項目や目標について、監査を年 1 回実施します。	○	
	G104	環境に関連する情報を、広報や HP で年 80 件以上提供します。	○	○
ステップ	A205	内子町環境基本計画にかかる事業の達成度を示す指数および数値目標の達成率を 70%とします。	○	○
	A206	内子町環境基本計画にかかる独自の数値目標を各部署で設定・実施し、その達成率を 90%とします。	○	
	M206	内子町環境マネジメント推進本部会議を年 2 回開催し、評価・見直しを行います。	○	○
	M207	ステップステージの取組項目や目標について、監査を年 1 回実施します。	○	
	G203	環境に関する施策・事業計画等について、町民との意見交換の場を年 20 回以上設けます。	○	○
ジャンプ	A302	うちエコにおける環境負荷低減の取り組み等について、情報共有・啓発の機会を年 2 回以上設け、事業所での実践に役立てます。	×	△
	A305	エコロジータウン内子のまちづくりを推進するため、環境団体等が主体となって、勉強会を年 1 回開催します。	×	
	A307	えひめ AI-1 の利用促進を図るため、環境団体の主催で農業分野における実践活動を他団体と連携して 1 つ以上行います。	○	
	A308	環境団体の主催で、環境に関する実践活動を、他団体と連携して 30 回以上開催します。	○	
	M304	ジャンプステージの取組項目や目標について、監査を年 1 回実施します。	×	×
	G302	町民や事業者、団体、自治会等の環境への取り組みについて、年 1 回は広報で紹介するとともに、年次報告書に掲載し公表します。	○	○
	G303	住民、団体等による主体的な活動を 5 種類以上サポートします。	○	
ステージ		目 標	達成 状況	評価

5. 所見

9つの評価項目うち、「○（良好）」が7つ、「△（改善要望）」が1つ、「×（勧告）」が1つとなり、令和5年度と比べて「△」が1つ減り、「○」が1つ増えました。

ホップステージについて、電気使用量（A103）および公用車等の燃料使用量（A104）にかかる目標の達成状況は、いずれも「×」となりました。これは、基準年である2019年がコロナ禍による施設休館等の影響で電気使用量が低く抑えられていたことや、暖冬の影響によりスキー場において降雪機を稼働させるための軽油使用量が増加したことが主な要因です。いずれもやむを得ない事情であると考えられるうえ、他の項目では目標を大きく上回る達成状況がみられたことから、総合的に見て「○」評価としています。ただし、いずれもわずかな差で達成に至らなかった点は惜しまれるため、今回の評価に満足することなく、今後も引き続き温室効果ガスの排出量削減に取り組んでほしいと思います。

ステップステージについて、全ての項目で目標達成できていることから、「○」評価としています。

ジャンプステージについて、項目 M304 の評価を「×」としています。これは、ジャンプステージに取り組む企業への働きかけが進まなかったことが主な要因です。「うちエコ」の取り組みを役場内にとどめず、地域や事業者へと広げていく段階にあるこのステージでは、企業の参加が重要です。M304 は昨年度も未達成であり、継続的な課題となっています。今後、企業にとって取り組みやすい方法の検討や、目標設定そのものの見直しなどをする必要があると考えます。

総評として、長年にわたり、「エコロジータウン内子」を目指して、着実に取り組みを積み重ねてきたことは高く評価されます。令和6年度は、第2次内子町環境基本計画（後期計画）の最終年度でしたが、5年間継続して頑張って取り組まれてきた成果が表れていると感じます。今後も、これまでに定着したものを後退させることなく、工夫しながら取り組んでいってほしいと思います。特にジャンプステージにおいては、新たな展開を期待します。また、今年度策定予定の「第3次内子町環境基本計画」に係るアクションプランでは、町民・事業者が一体となって取り組めるよう、具体的な数値目標を掲げ、これまでの成果をさらに発展させてほしいと思います。